

冬号

第147号

財団法人 山梨県交通安全協会

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-237-7827
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23
(ホームページ http://www.yin.or.jp/user/ankyoku/)

- | | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 小笠原交通安全協会 | 韭崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会 |
| 鯉沢交通安全協会 | 南部交通安全協会 | 市川交通安全協会 | 石和交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会 | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

- | | | | |
|-------------------|------------------|------------------|--------------|
| 自動車安全運転センター山梨県事務所 | 社団法人・山梨県トラック協会 | 山梨県タクシー協会 | 社団法人・山梨県バス協会 |
| 山梨県自動車販売店協会 | 社団法人・日本自動車連盟山梨支部 | 社団法人・山梨県自動車整備振興会 | 山梨県軽自動車協会 |
| 山梨県二輪車安全普及協会 | 山梨県自転車軽自動車商協同組合 | 社団法人・山梨県建設業協会 | |



つげよう早めのライト・反射材

年末の交通事故防止県民運動 12月1日から31日



シルバーナイトスクールで斜め横断の危険性と巻き込み事故の恐ろしさを学ぶ高齢者
増穂・二ス力駐車場

交通安全カレンダー

- 12月1日～31日 年末の交通事故防止県民運動
- 平成16年
- 1月 交通安全推進県民大会
- 4月 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会
- 7月 夏の交通安全防止県民運動
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会

年末の交通事故防止県民運動が、十二月一日から三十一日までの三十一日間実施されます。

年末は、交通量の増加に伴い道路が混雑するだけでなく、心理的な慌ただしさに加えて、日没も早いことから、交通事故の多発が懸念されます。

運動の期間中、山梨県交通安全協会は県・県警をはじめとする関係機関・団体と協力して地域に密着した街頭指導や交通安全活動などのPR活動を繰り広げ、交通事故防止に取り組みます。

今回の運動の重点は①高齢者の交通事故防止②早めのライト点灯の徹底③シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底④飲酒運転の絶対⑤若者による無謀運転および暴走族の追放⑥健康で新しい年を迎えることができるよう一人ひとりが交通ルールとマナーを順守し、交通事故防止に努めましょう。

内容紹介

- 2面 シートベルト着用率調査結果
- 3面 県民の日イベントに参加
- 4～6面 各地区安協の活動
- 7面 県中学生弁論で荒井明日葉さん優勝
- 8面 協賛団体の交通安全活動

交差点

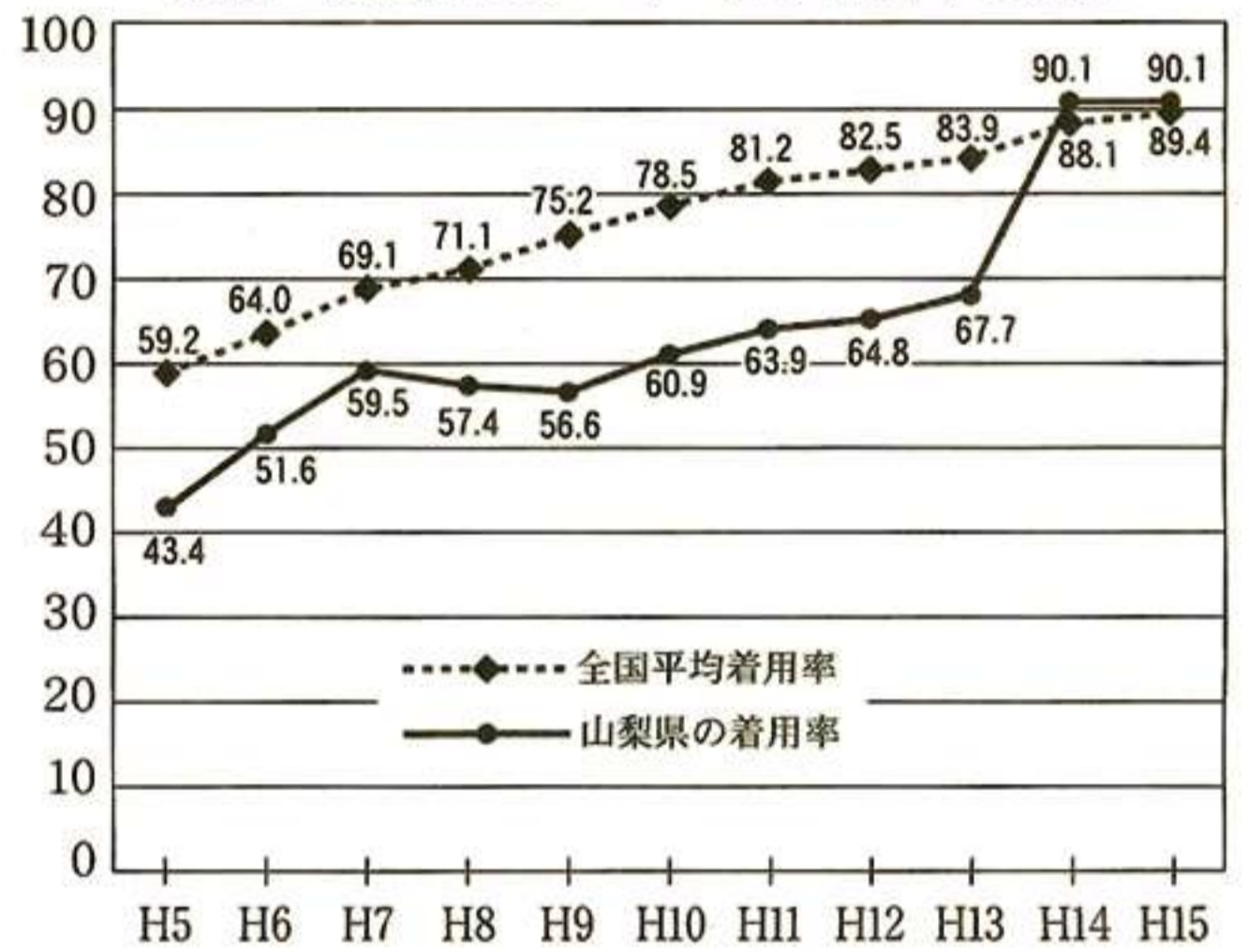
最近の交通事故の発生状況を見ると高齢者の重大事故が多発しており、その内容も従来の被害事故中心から、加害者として交通事故にかかわるケースが多くなっています。高齢者の皆さん、最近、跳べると思った水たまりにパシヤ、上げたつもりは足先が敷居につまずいて転倒、狭い道路で対向車とすれ違う際、目測を誤って左側に寄り過ぎて愛車を電柱にガリ。こんな経験はありませんか。こうした出来事は、加齢とともに視力、聴力、動作の速さ、正確さなどの身体機能が低下していることが原因であるものと考えられます。ちなみに、平成十四年中に、県内で交通事故によって亡くなった六十五歳以上の高齢者は二十八人と、全死者七十一人の四〇%を占めています。このように高齢者が、交通事故に遭う比率が高まったのは、本格的な高齢化社会を迎え、高齢者の社会参加活動がより活発化しているためだと思われ、こうした厳しい交通環境の中、安全で快適な社会生活を営むためには、加齢とともに低下した機能を自覚するとともに、低下する身体機能を十分に自覚し、自らが努力し、安全運転の方法について考え、実行することが必要です。なお、自らの運転適性能力を知るためには、免許センターに備え付けられている高齢者用の適性検査機器を利用するか、交通安全協会で行っている適性検査などを積極的に活用していくことも大切なことだといえます。

シートベルト着用率調査

助手席、後部座席ダウン

10月県内 同乗者も必ず着用を

一般道・運転席のシートベルト着用率の推移



平成15年山梨県のシートベルト着用率 (平成15年10月)

	一般道		
	運転席	助手席	後部
全国平均	89.4%	75.2%	6.9%
山梨県 (平成14年)	90.1% (90.1%)	63.7% (79.0%)	7.1% (10.2%)

	高速道		
	運転席	助手席	後部
全国平均	97.4%	91.4%	11.0%
山梨県 (平成14年)	98.6% (98.4%)	91.8% (94.9%)	14.0% (17.6%)

※警察庁と社団法人自動車連盟による合同調査結果

平成十五年十月に、全国一般道八百八十二カ所、高速道百一カ所で警察庁と日本自動車連盟が合同で実施したシートベルトの着用率調査の結果がまとまりました。山梨県の一般道の運転席着用率は、昨年初めて全国平均を上回りました。今年調査では運転席は昨年と同じ九〇・一％でしたが、助手席は六三・七％、後部座席は七・一％と昨年を下回る結果となりました。また、助手席の着用率が全国の平均よりも低くなっています。

早めのライト点灯を

12月は夕暮れ時の事故多発

十二月は、日没の時間が早くなることから、夕暮れ時の事故の危険性が高くなり、運転席や後部座席でも着用率が変わりません。平成十四年十月に、全国一般道八百八十二カ所、高速道百一カ所で警察庁と日本自動車連盟が合同で実施したシートベルトの着用率調査の結果がまとまりました。山梨県の一般道の運転席着用率は、昨年初めて全国平均を上回りました。今年調査では運転席は昨年と同じ九〇・一％でしたが、助手席は六三・七％、後部座席は七・一％と昨年を下回る結果となりました。また、助手席の着用率が全国の平均よりも低くなっています。

十二月は、日没の時間が早くなることから、夕暮れ時の事故の危険性が高くなり、運転席や後部座席でも着用率が変わりません。平成十四年十月に、全国一般道八百八十二カ所、高速道百一カ所で警察庁と日本自動車連盟が合同で実施したシートベルトの着用率調査の結果がまとまりました。山梨県の一般道の運転席着用率は、昨年初めて全国平均を上回りました。今年調査では運転席は昨年と同じ九〇・一％でしたが、助手席は六三・七％、後部座席は七・一％と昨年を下回る結果となりました。また、助手席の着用率が全国の平均よりも低くなっています。

他の車からもよく目立つ③歩行者や他の車を発見しやすくなる④安全運転への自覚が高まる⑤などの効果があります。十二月は午後四時になったから、車のライトを点灯しましょう。薄暗いうちはスマートフォンライトだけを点灯している車を見かけますが、自分の車の存在を知らせるためにも、ライトを点灯する時には最初からヘッドライトを点灯するようにしましょう。

今年の交通事故による死者数は、全国的には減少しているなかで、県内では急増しています。十月三十一日現在の死者数は七十八人で、前年同期比二十二人(三九・三%)増と大幅に増加しており、昨年一年間の死者数七十一人を既に超える厳しい状況となつています。また、人身事故の発生件数については、統計史上最悪を記録した昨年を上回っており、誠に憂慮すべき状況にあります。

自宅の近くが最も危険

高齢者 加害者のケースも急増

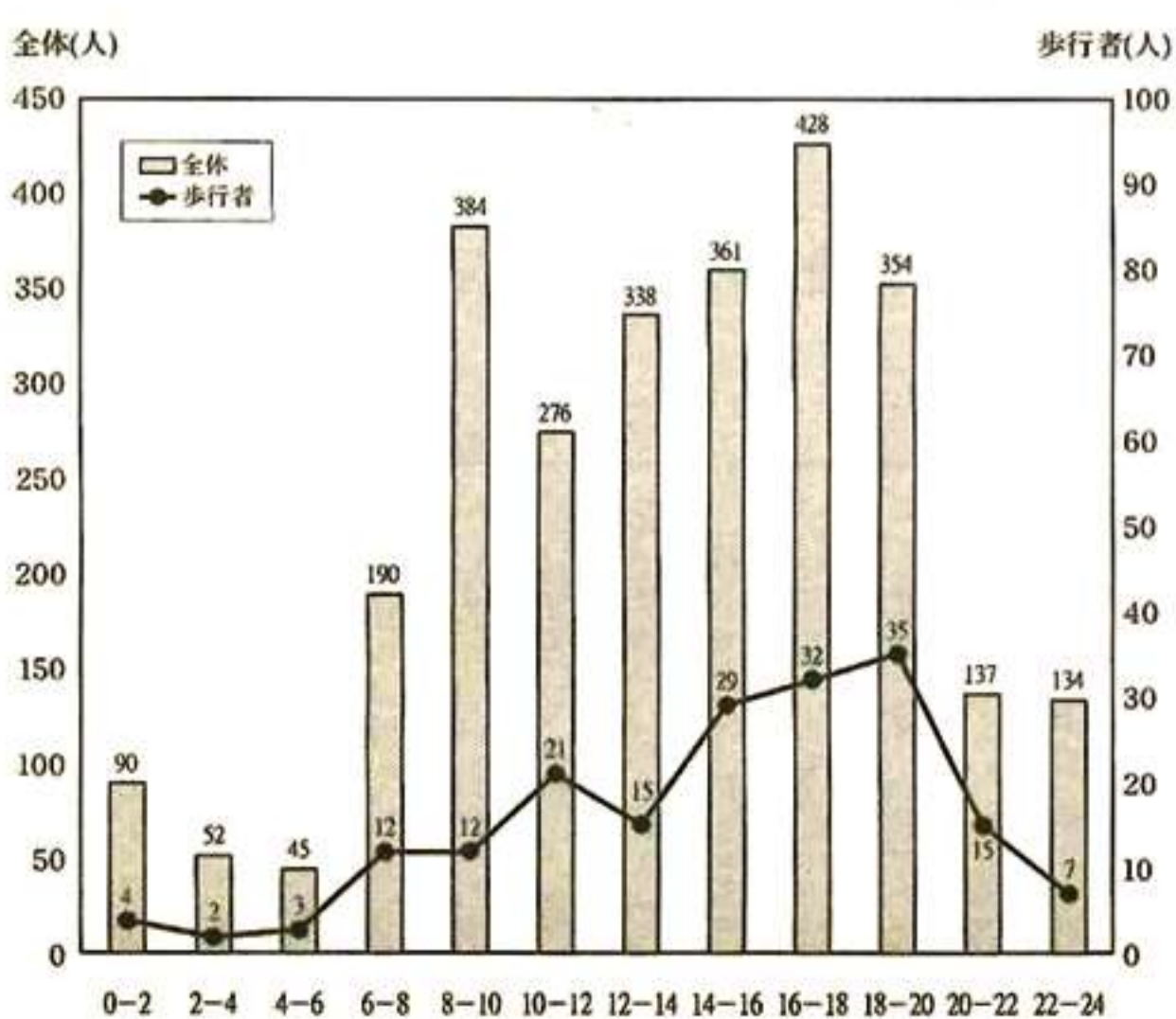
この中で、とりわけ重大なのは六十五歳以上の高齢者の事故です。十月末の高齢者の死者数は二十八人で前年同期比五人(二一・七%)増と、これは県内の死者数全体の三五・九%を占めています。

死亡事故ばかりでなく、負傷で済んだ交通事故も同様の傾向を示しています。高齢者十九件(五四・一%)が高齢

者の自宅から五百メートル以内の身近な生活圏内道路で発生している。このうち、道路横断中の事故が九十九件(六七・八%)と、七割近くを占めています。また、歩行中の事故について、高齢者の自宅から発生場所までの距離別件数(百四十六件の内訳)で見ると、百以内が五十二件(三五・六%)

以上、高齢者に関する交通事故について説明しましたが、最近では高齢者が被害者となる事故も増加しています。また、交通を取り巻く環境は、本格的な高齢化社会へ向け、今後ますます加速し、厳しくなることが予想されます。一般ドライバーや周囲の方々は高齢者に優しい心遣いで高齢者の事故防止にご協力をお願いいたします。

12月の交通事故による時間別負傷者数 (H12-14の3年間合計)



高齢者を交通事故から守るために行われている各種交通安全教室

体験コーナーを設置 交通安全肌で感じる

県安協が県民の日行事に参加



歩行者横断トレーナーなどを参加者が体験した交通安全コーナー

山梨県交通安全協会は十一月十六日、甲府・小瀬スポーツ公園で開催された県民の日

記念行事に今年も参加し、交通安全のための参加・体験型ツコーナーを開設しました。

防犯的效果もプラス

支援要員が活動3カ月



山梨県交通安全協会は、緊急地域雇用創出特別事業の一環として県警からの委託を受け、交通安全支援事業を行っています。

交通安全支援事業は交通マナーアップ活動、街頭指導保護活動、違法駐車および違法駐輪対策活動、各種調査活動を目的に今年九月一日から実施し、さまざまな成果を上げています。

参加者の多くは実際の交通路半分まで渡ったところで点滅し始めました。それを見ていた支援員は、すかさず近寄り保護しながら渡り切りました。

一、はじめに

雁坂みち(国道140号)を甲府から雁坂峠方面に向かっていくと、道路わきに「年寄り笑うな行く道じゃ」という看板があります。

現在、日本は、バブル崩壊後の長い不況の中にありながらも経済大国として、有史以来、その生活の質は世界的にトップクラスの水準に達し、また、厚生労働省の発表によると、日本は世界の最長寿命国の地位を不動のものとして、国民が等しく健康で文化的な生活を送ることが可能な機会も十分に与えられています。

六十五歳以上の高齢者が人口に占める割合は、二〇一五年に二六%、二〇三〇年には三〇%、二〇五〇年には三六%に達するとい

う政府予測が出ていますが、日本の



安全のため

科学技術や経済立国の基盤を築き、ここまでの発展、繁栄に導いてきた人生の先輩方が穏やかに、健康で余裕を持った第二の人生を送れるような「安全で安心な生活環境の確保」が求められ、その視点に立った「安全で快適な道路環境と車社会づくりの在り方」が、今後の高齢社会を考えていく上で、極めて重要な課題ではないかと思えます。

今年一月に、内閣総理大臣から「今後十年間で交通事故死者数を半減させ、道路交通に關して世界で一番安全な国を目指す」という決意表明があり、これを受けて三月二十七日、交通

対策本部(政府)は、高齢者の交通事故情勢に的確に対応し、高齢者の交通安全のさらなる充実を図るために「本格的な高齢社会への移行に向けた総合的な高齢者交通安全対策について」

の方針を決定したところで、わが国が本格的な高齢社会を迎え、地域における安全な生活環境を確保しつつ、自立支援や社会活動への参加を促し、高齢者の「生活の質」を高めていくためには、「高齢者」と他の世代が相互理解と思いやりを持って共生の交通社会をつくること

要である」という内容です。

概況

10年で交通事故死者を半減するための提言

特に、本格的な高齢社会を迎えるなかで、

県警交通企画課長 小野 忠則



増加傾向を続け、四十四年には年間の死者数が二百二十七人と統計史上最悪を記録しました。その後、増減を繰り返しながら、高

割合は二〇%ですから、交通事故による高齢者の死者数が人口比の二倍と突出しているのは全国的にも同様ですが、欧米諸国が人口比を若干上回る程度にとどまっていることから比べると、異常と言っ

るために、

増加傾向を続け、四十四年には年間の死者数が二百二十七人と統計史上最悪を記録しました。

その後、増減を繰り返しながら、高

割合は二〇%ですから、交通事故による高齢者の死者数が人口比の二倍と突出しているのは全国的にも同様ですが、欧米諸国が人口比を若干上回る程度にとどまっていることから比べると、異常と言っ

るために、

四、高齢者を交通事故から守るために

交通安全対策本部が示した「三・二七決定」は、高齢者の交通事故防止対策について①高齢歩行

高齢者、高齢自転車利用者などの交通安全対策③市民参加型の交通安全活動の推進および高齢者保護の強化

の強化の三つの大きな柱から構成されており、「あしん歩行エリア対策」「道路交通環境のバリアフリー化」「高齢運転者に対する講習の充実」「高齢者世帯訪問活動」「世代間交流活動」などのハード面、ソフト面から高齢者に優しい道路環境づくりに関する多くの対策が盛り込まれています。

また平成十八年から運用を予定している「総合交通センター」を幅広く活用して参加、体験型の交通安全教育の充実にも力を入れていきたいと考えています。

また平成十八年から運用を予定している「総合交通センター」を幅広く活用して参加、体験型の交通安全教育の充実にも力を入れていきたいと考えています。

また平成十八年から運用を予定している「総合交通センター」を幅広く活用して参加、体験型の交通安全教育の充実にも力を入れていきたいと考えています。

また平成十八年から運用を予定している「総合交通センター」を幅広く活用して参加、体験型の交通安全教育の充実にも力を入れていきたいと考えています。

安協から

南甲府交通安全協会は、県都甲府市の南部地域と昭和町、竜王町、玉穂町、田富町、中道町、豊富村の一市五町一村(管内人口十六万三千人)を管轄する県内最大規模の交通安全協会です。

管内には国道20号線、140号線、358号線、主要地方道などが縦横に走り、田富流通団地、中道食品団地、国母工業団地のほか昭和・国母地区に大手小売業を核とした商業圏があり、道路環境は年々改善されてはいるものの国道20号線と昭和バイパスが交差する国母交差点では朝夕に著しい渋滞が生じています。

交通安全は家庭から

南甲府安協会長 山下 譲二

百六十九人、死者十一人で、死者は前年より八人減と大幅に減少しましたが事故件数は増加し、厳しい交通情勢にあります。

「庭から」と、高齢者家庭を中心に「子供と高齢者を交通事故から守る」運動を重点に活動してきました。特に、

「ス、冷蔵庫にメチンキえ用としてのマグネット」「交通安全は家庭から・飲酒運転厳禁」を作成し、交通安全母の会の協力を得て、高齢者家庭に対する訪問配布

「重点通学路に対する「通学路表示板」などの設置
○自治会の協力を得て、「交通安全標語」の募集、優秀者に対する表彰、優秀作品を町内電柱に掲示などの活動に取り組んでまいりました。また四月の信玄公祭には、山梨県交通安全協会として甲府交通安全協会と合同で、甲州軍団本陣隊として参加し「反射材の着装」を広報しました。



支部においては各種行事などに役員の出動をお願いし、交通事故防止に努めておりますが、今年交通安全協会の目的に賛同されて会員になっていただいた方の中から五人の犠牲者が出て交通見舞金の交付をいたしました。

きました。免許取得者は交通ルールを学びますので、確実に守ってもらえればよいのですが、子どもや高齢者の中には交通安全の技能や道路交通法の知識が十分でない方が多数いることも事実です。

「夜間歩行時の危険性を認識していただく」ことの重要性を繰り返し訴え、交通安全の意識付け活動をしてきたところです。

「道路標識一覧表の作成配布と道路標識ペンゴゲームの活用
○管内の全小学校二十七校、新入学児童千九百七十一人に対し「交通安全下敷」と三色鉛筆の贈呈

「悲惨な事故を目の当たりにし、交通ルールの順守と交通安全運動を繰り返す必要性を痛感しています。今後とも皆さまのご協力をお願いいたします。」

連携の輪 師走へリレー



大鎌田保育園児によるマーチング演奏と交通安全宣言

マーチング演奏で交通安全呼び掛け

南甲府交通安全協会(山下讓二会長)は、秋の全国交通安全運動期間中の九月二十一日、運動の機運を高めるため、

安全運動期間中の九月二十一日、運動の機運を高めるため、式では、YBS山梨放送の鈴木智草アナウンサーを一日警察署長に委嘱し、大鎌田保育園児五十人による「マーチング演奏」および「交通安全宣言」を行い、引き続き大型店舗ロビーで開設した街頭指導所で、来客者にチラシなどを配布し、交通事故防止を呼びかけました。



人形などを使った実践型の交通安全教室

「論より証拠」事故事例学ぶ
○甲府 甲府交通安全協会(保坂輝行会長)は、秋の全国交通安全運動の重点である、高齢者の交通事故防止、特に薄暮時における歩行中の事故防止を推進するため、九月二十八日、

照射実験の参加・体験・実践型の交通安全講習を行いました。参加者は「危険と安全の違いを予測することの重要性を認識することができ、これからの自動車の運転や道路の横断等に参考になった」と感想を話していました。

小中学生の絵画 最優秀作を壁面に

都留交通安全協会(石原滋会長)は、管内の十一小学校



六中学校から交通安全に関する「シートベルト・チャイルドシートの着用推進」をテーマにした絵画を夏休み期間中に募集、百五十九点の作品から優秀作品五点を選出しました。その中から最優秀作品を壁面として作成、ドライバー・通行者に交通安全を呼び掛けるため、谷村第一小学校の側壁に設置し、除幕式を行いました。



一新した交通安全広告塔

「新しい自分の力で走るの」
上野原交通安全協会(和田博夫会長)は、幹線道路である国道20号「大呼戸橋」東詰

交通安全へ広告塔 一新し無事故誓う

○上野原

「完成式には、同安協役員、警察署員が出席し、管内の交通事故をなくすため、さらなる交通安全活動の活発化を誓いました。」

★各種の免許(大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。

★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人 山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

南アルプス市野牛島1828 (免許センター内) TEL(055)285-0752

無事故願い 地道な催し

秋の全国交通安全運動 地区安協の活動



管内の小学生から応募のあった交通安全標語入賞者の表彰式

ハツとした君の心に赤信号
**小学生から
 安全標語募集**

○…日下部

日下部交通安全協会(天野経廣会長)は、小学生の交通安全意識の向上と運転者への安全運転を呼び掛けることを目的に、管内の小中学校に呼び掛け、交通安全に関する標語を募集しました。最優秀作品は日下部警察署正面に設置された広告塔に掲示して、また優

秀作品を山梨市の広報紙に掲載して広報しました。同協会は、高齢者交通安全モデル地区を指定しており、本年も昨年に引き続き三富地区を指定、高齢者百十五人を対象に交通講習を実施して夜間反射材(反射タスキなど)を配布して夜間外出時の交通事故防止を呼び掛けました。標語の最優秀賞・優秀賞は次の通りです。

▽最優秀賞 武井加奈子(八幡小6年) 「ハツとした君の心に 赤信号」▽優秀賞 志田康平、菊島大地(以上八幡小) 角田静香、有岡翔太(以上岩手小) 中村里奈、田



秋の全国交通安全運動を盛り上げた保育園児による「交通安全・さわやか鼓笛隊」

秋の全国交通安全運動は九月二十一日から三十日まで十日間実施され、山梨県内でも多くの交通安全関係機関・団体が参加し、無事故を願い地道な活動を繰り広げました。運動は、高齢者の交通事故防止や早めのライト点灯の徹底、薄暮時の歩行中の事故防止、シートベルト、チャイルドシートの着用徹底を重点に実施しました。多くの人の人生を左右しかねない重大な結果を招く交通事故。交通安全の旗振り役として活動した県内十五地区安協の活動を紹介します。

園児鼓笛隊が運動に彩り 塩山

塩山交通安全協会(橋爪進会長)は、秋の全国交通安全運動初日の九月二十一日、塩山警察署で「交通安全・さわやか鼓笛隊(開始式)」を行いました。

式には交通安全関係機関・団体から約百人が参加して、市内保育所の鼓笛隊が演奏を行った後、園児代表が「交通安全の誓い」を宣言し、くす玉を割り、期間中の無事故を誓い合いました。

石和交通安全協会(三枝力会長)は、秋の全国交通安全運動期間中の九月二十四日、管内の交通安全関係団体役員らから約百人が参加して、市内保育所の鼓笛隊が演奏を行った後、園児代表が「交通安全の誓い」を宣言し、くす玉を割り、期間中の無事故を誓い合いました。

ブドウを配り
 交通安全訴え

○…石和



ブドウを配って交通安全を呼び掛ける交通安全関係団体役員ら

草川翔太、武井俊宏(以上日下部小) 井上かおり、斧田有里紗、山下陽子(以上山梨小) 小澤雄輔、逆瀬川彩佳、平井大貴(以上加納若小) 岩間麗美、反田秋穂(以上後屋敷小)

高年齢者や中学生
 交通安全考える

○…大月

大月交通安全協会(山下道男会長)は、九月十八日、アピオ都留で「大月市高齢者交通安全大会」を開催、市内から約二百五十人の高齢者が集まり、さちかぜ号による交通安全教室などを行い、高齢者の事故防止を呼び掛けました。

また、九月十九日には、大月市立猿橋中学校で、交通安全全弁論大会を開催、管内の中



秋の全国交通安全運動 高齢者を交通安全から守ろう

高い無事故率

早く優しい地元のための教習
 富士吉田交通安全協会経営
 山梨県公安委員会指定

**岳麓自動車
 教習所**

富士吉田市新西原5-5-1
 ☎0555-22-1689
 普一・二、大型一・二、大特、けん引
 自二(合宿施設有)

高年齢者が体験型
 安全教室に参加

○…葦崎

葦崎交通安全協会(深沢正樹会長)は、秋の全国交通安全大会(湯山喜八会長)は、秋の全国交通安全大会を開催し、交通安全を呼び掛けました。

十月十一日には協会役員の間を回るため、いちのみや桃の里スポーツ公園で、各支部対抗による親善クラウンドゴルフ大会を開催しました。

高年齢者に反射材
 死亡事故0作戦

○…富士吉田

富士吉田交通安全協会(湯山喜八会長)は、秋の全国交通安全大会を開催し、交通安全を呼び掛けました。

交通安全運動期間中、集会所へ高齢者を集め、高齢者交通安全0作戦を行いました。0作戦では、高齢者の交通安全、事故の特徴などの講習を行ったほか、履いてきた靴などに反射材の張り付けを行いました。最後に0作戦にちなんで事故無しでくだものの「なし」を配布しました。

九月十九日、国道141号「ゆーふる葦崎」で、交通安全関係団体・マナーアップディスプレイ・国際交流葦崎地区連絡協議会加盟企業の外国人、約八十人が参加して街頭指導所を開設しました。

樹会長は、九月十二日、運転免許センターで管内市町村の高齢者代表十六人(最高齢八十二歳、平均年齢七三・二歳)が集まり高齢者体験型交通安全教室を開

に対して交通安全啓発品(ゆで卵、ブドウ、チラシなど)を配布し、交通安全を呼び掛けました。

交通安全運動期間中、集会所へ高齢者を集め、高齢者交通安全0作戦を行いました。0作戦では、高齢者の交通安全、事故の特徴などの講習を行ったほか、履いてきた靴などに反射材の張り付けを行いました。最後に0作戦にちなんで事故無しでくだものの「なし」を配布しました。

九月十九日、国道141号「ゆーふる葦崎」で、交通安全関係団体・マナーアップディスプレイ・国際交流葦崎地区連絡協議会加盟企業の外国人、約八十人が参加して街頭指導所を開設しました。

樹会長は、九月十二日、運転免許センターで管内市町村の高齢者代表十六人(最高齢八十二歳、平均年齢七三・二歳)が集まり高齢者体験型交通安全教室を開



高齢者交通死亡事故0作戦参加者の靴に反射材を張り付けて無事故を祈る



運転シミュレーターを使った高齢者の運転疑似体験

樹会長は、九月十二日、運転免許センターで管内市町村の高齢者代表十六人(最高齢八十二歳、平均年齢七三・二歳)が集まり高齢者体験型交通安全教室を開

秋の全国交通安全運動 地区安協活動

高齢運転者クラブが発足 ○南部

南部交通安全協会(依田倉 警察署、管内交通関係団体と蔵会長)は九月十八日、南部 連携して高齢運転者クラブ



幼稚園児による交通安全パレード

(お達者紅葉倶楽部)を発足させました。高齢者の交通事故が年々、増加傾向にあることから、高齢運転者の交通安全意識向上を目的にしたもので、百二十七人が加入しました。同二十一日にはシルバードライバー教室を開き、運転基本操作の検査、動体視力、夜間視力検査などを行いました。また同安協支部は九月二十四日、内船駅前幼稚園児によるマーチング演奏を行い、パレードしながら分庁舎まで行進しました。

交通安全願い千羽鶴を配布 ○小笠原

小笠原交通安全協会(功刀 長夫会長代行)は、各支部で交通安全千羽鶴や手編みのキー



白根三山の写真入り桃太郎旗を立て、実施した街頭指導所

ホルダーなど作製し、管内主要路線六カ所で街頭指導所を開設し、ドライバーに配布し



高齢者宅を訪問し、交通事故の特徴を説明する安協役員ら



夜間、服装によって歩行者がどう見えるかなどを学んだシルバーナイトスクール

高齢者100人が ナイトスクール ○鮎沢

鮎沢交通安全協会(深沢豊 会長)は、秋の全国交通安全運動期間中の九月二十六日夕方から増穂町で町内の高齢者約百人が参加した、参加・体験・実践型の高齢者交通安全教室(シルバーナイトスクール)を開催しました。

スクールでは交差点の危険、道路横断中の事故防止、車は遠くに見えても速いなどの実験を見学した後、夜になって暗くなった時に車の前照灯がどの範囲に届くのか、服装によってどう見えるのかといった照射実験、反射材の効果などを体験しました。

三代交通安全 リーダーを委嘱 ○長坂

長坂交通安全協会(伊藤重 忠会長)は、「交通安全は、家庭から」を基本として、高齢者世代・父母世代・子供世代の三代を対象として交通安全各種対策を推進しており、九月十八日、高根東小学校で、高根東小学校自転車クラブ児童とその家族に対して、地域世代交通安全リーダーの委嘱

状を交付しました。同安協では管内六町村が持ち回りで交通安全フェスティバルを行っており、今回は小淵沢で開催しました。フェスティバルでは、高齢者・中学生交通安全弁論の発表があり、シートベルトコンビンサー・パトカーの試乗体験などが行われました。

車は、アクセルを踏むだけの行為で、遠いところへも早く、楽に行くことができ、また、重い荷物でも簡単に運ぶことができるなど、私たちの日常生活や経済活動の中で欠くことができないものです。

しかし、車は便利さの裏側に、交通事故で人の命を奪う「凶器」にもなるというのを忘れてはならないと思います。

全国では、交通事故により毎日二十人以上の方が亡くなっており、山梨県内においても、今年十月末で七

シグナル

事故を起こすのは車でなく人

ルール順守は最低限の責任

十八人の方が亡くなっています。車のアクセルを踏み、ハンドルを操作するのは、運転者である「人」であり、交通事故は、車が起こすのではなく、社会生活の基本は、それ

状況を見ると、「運転者の責任」など全く感じていないような車が多いと思うのは、私だけではないと思います。最近、犯罪が急激に増加しており、特に少年犯罪の増加とその凶悪化が社会問題として大きくクローズアップされ、その根底には、家庭の崩壊があるのではないかとされています。他人に迷惑をかける、自分の行為に責任を持つという集団生活をしていく上で基本的なルールを、小さいこ

た。同二十一日にはシルバードライバー教室を開き、運転基本操作の検査、動体視力、夜間視力検査などを行いました。また同安協支部は九月二十四日、内船駅前幼稚園児によるマーチング演奏を行い、パレードしながら分庁舎まで行進しました。



シートベルトコンビンサー試乗も行われた交通安全フェスティバル

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店
株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目32-13
日東ビル4階
TEL055-228-0691

荒井明日葉さんが優勝

無事故の願い 熱く訴え

県中学生交通安全弁論大会



第四十五回山梨県中学生交通安全弁論大会が県警本部と県交通安全協会の共催で十月九日、甲府市のニュー機山で開催されました。

大会には県内十五管内の地区大会で優秀な成績を収めた十六人の代表が出場、持ち時間五分で「論旨がわかりやすいか」、「声が大ききくはつきりとして聞き取りやすいか」などを基準に審査した結果、「私にできること」の演題で弁論を行った富士吉田市立吉田中学校三年、荒井明日葉さんが優勝しました。

受賞者は次の通りです。

◇優勝▽山梨県知事賞 荒井明日葉(吉田中三年)

◇準優勝▽山梨県議会議長賞 本田友里恵(山梨学院大学附属中二年)▽山梨県教育長賞 河野紗也加(都留第二中三年)▽県警本部長賞 県安協会賞 町田はるか(勝沼中一年)

◇優秀賞▽前嶋康太郎(笛川中二年)、河村彩子(丹波中二年) 鍋田恵理(万沢中一年) 小林利光(浅川中三年) 清水重純(竜王中三年) 杉本和也(梁川中一年) 秋本杏子(芦安中三年) 望月沙織(早川中三年) 笠井広和(六郷中二年) 富田雄二(平和中三年) 野口智美(韮崎西中三年) 菊島風子(武川中三年)

「危ない！」信号が点滅しはじめてから、横断歩道に走りこむ小学生を見た。高学年の子どもたちは渡りきれていた。しかし、一年生や二年生は背も小さく、足も遅いので渡り終わるころには赤になっていた。富士吉田市内にあるその交差点は、県内でも交通事故の多い場所となっている。横町バイパスと本町通りが交差し、四車線から二車線になる場所である。こんな危ない交差点を、走りぬげるといって、危険を予知してはいない小学生を見て、心配になった。小学生のころ、母に言われたことを思い出した。「青信号が点滅している時は走りこんで渡らないこと」「信号が青に変わっても、すぐには渡らないこと」「自分の命は自分で守ること」。そう言った時の母の気持ち、よくわかった。

もしかししたら、右折車がスピードを出したまま来たり、赤信号を無視した車が来るかもしれない。そういう危険の予知が大切だということを母は教えてくれた。

交通事故は何の前触れもなく、平穏な生活を破壊してしまう。もし、私が今、交通事故に遭ってしまったら、植物人間と呼ばれる状態になるかもしれない。手足をけがして、将来の夢がかなわなくなるかもしれない。一瞬の危険の予知が生を左右するのだ。

「やめようよ、自分のルールで走るのよ」。先日、こんなスローガンを交差点で見た。

県中学生交通安全弁論大会の優勝作品

私にできること

吉田中3年 荒井 明日葉

交通規則さえしっかり守れば大きな事故はおきないと思う。それなのに、きまりを守ることができないのはなぜだろうか。それは、それぞれの人が「自分のルール」で行動していることが多いからだ。

た時、急いでアクセルをふみ、赤に変わる前に通ってしまおうとする車がいる。黄色は先に進んではいけない」ということなのに、「黄色は急げ」だと自分に都合のいいルールを作っているのだ。どんな理由があろうと、それは自分のルールであって、事故をひきおこす原因となってしまう。

中学校にも、校則という大切なルールがある。きまりを守っても意味がない、という人がいるけれど、私は、「ルールを守る」ということに意味があるのだと思う。ルールを守るためにはがまんをしなくてはいけない。これは、すべて将来、大人になった時のための練習になる。今、ルールをしっかり守ることができれば、車を運転するようになった時、自分勝手なルールで走ることはいらないだろう。

私は、交通安全について二つのことを考えた。

一つめは、自分の命は自分で守る、ということ。そのためには、危険の予知をすることが大切だと思



安協入会時に会員へのサービスとして配布している「山梨セーフティードライブマップ」

安協会員 メリット 弁護士が無料法律相談 近県の道路マップも配布

山梨県交通安全協会と各地区交通安全協会は、会員を対象に、交通事故による民事上の紛議等に対処するため、委託弁護士による無料法律相談をしているほか、不幸にして交通事故により死亡または後遺障害が生じた場合、十万円の見舞金を贈呈しています。

本年度上半期における交付状況がまとまりましたのでお知らせします。

○弁護士による無料法律相談一八件

○交通事故による見舞金の贈呈一十二件

なお、このほか会員のメリットとして入会時に交通事故の多発地点を記入した近県の自動車道路マップや運転免許証入れなどの安全資料を配布しています。

平成十三年四月以降、各地

区交通安全協会に加入した会員で交通事故の民事上のトラブルなどでお悩みの方は、お気軽に専門家(弁護士)にご相談ください。

問い合わせは山梨県交通安全協会、電話055・237・7827か、または各地区交通安全協会へ(入会時に配布した「山梨セーフティードライブマップ」を参照してください)。

自分だけは大丈夫だろう、という甘えや、違反は自分だけではないという考えから、都合のいいルールをつくりだし、そのルールがあたかも正しいもののように思いこんでしまうのだ。

例えば、信号が黄色になった時、急いでアクセルをふみ、赤に変わる前に通ってしまおうとする車がいる。黄色は先に進んではいけない」ということなのに、「黄色は急げ」だと自分に都合のいいルールを作っているのだ。どんな理由があろうと、それは自分のルールであって、事故をひきおこす原因となってしまう。

中学校にも、校則という大切なルールがある。きまりを守っても意味がない、という人がいるけれど、私は、「ルールを守る」ということに意味があるのだと思う。ルールを守るためにはがまんをしなくてはいけない。これは、すべて将来、大人になった時のための練習になる。今、ルールをしっかり守ることができれば、車を運転するようになった時、自分勝手なルールで走ることはいらないだろう。

私は、交通安全について二つのことを考えた。

一つめは、自分の命は自分で守る、ということ。そのためには、危険の予知をすることが大切だと思

二つめは、ルールを守る、ということ。どんな時でも、どんな状況でもルールを守ることでできる強さがあると思う。

命は、一つしかない大切なものだから。

県トラック協会

正面から自然と向き合っている。

良い環境 築く主役は あなたです。



私達トラックの使命は、人々の豊かな生活を、その90%を占める物流面から支えること。でも、それだけではありません。素晴らしい環境を次の世代にしっかり届けるために、私達は正面から自然と向き合っています。アイドリ

グストップ運動やCNG車のような低公害車の普及促進、そしてディーゼル微粒子除去装置の装着などの環境対策に、業界をあげて取り組んでいます。いつまでも人と自然が共存できる、緑豊かな地球であるように。



自動車安全運転センター

安全運転管理は運転記録証明書から

証明書の内容例

運転記録証明書		運転者番号	5011
氏名	日本太郎	生年月日	昭和25年1月10日生
免許種別	普通自動車	免許取得日	昭和45年10月10日
行政処分	0回	罰金点数	2点
年月日	内容	罰金	点数
平成17年7月10日	安全運転講習受講(初級)	0円	0点
平成17年8月10日	安全運転講習受講(中級)	0円	0点
平成17年9月10日	安全運転講習受講(上級)	0円	0点
平成17年10月10日	安全運転講習受講(特級)	0円	0点
平成17年11月10日	安全運転講習受講(最高)	0円	0点
平成17年12月10日	安全運転講習受講(最終)	0円	0点
合計			
備考	以下空白		

運転記録証明書には、過去1年間・3年間または5年間の
 ●交通事故の年月日とその種別・原因・点数
 ●交通違反の年月日とその内容・点数
 ●運転免許の行政処分の年月日とその内容
 ●現時点での行政処分の前歴回数と累積点数が記録されています。



☆ 会社ぐるみ一括申請をお勧めします。

- 最近、雇用主が人を採用する場合、履歴書と共に「運転記録証明書」の提出を求めることが、一般化してきております。この証明書には過去1年・3年または5年間の交通事故・違反・行政処分の内容などが記載されているので、採用等の判断材料になるものと思料されます。
- また、企業によりましては会社の創立記念日など1年に一回、期日を定め全職員の委任を受けて一括申請を行って交通安全活動の資料として活用しております。(申請日から一週間位で管理者等の申請者に送付します。)この方法を採用している企業は、社員の安全運転に対する意識が高まり、違反や事故に伴う経費、自動車保険料の節約、作業効率アップなどの業績に役立っていると注目されています。
- まれに運転免許証の失効や取り消し等で無免許状態になっているドライバーを早期に見出す場合もあって、企業防衛の観点からも責任者に変役に立っているところであります。

<取扱事務所>

名称 自動車安全運転センター山梨県事務所
 住所 南アルプス市野牛島1828番地(免許センター内)
 電話 (055) 285局2345番(代)
 FAX (055) 285局2951番

AMS(山梨県自動車整備振興会)

使用済み自動車のリサイクル促進及び不法投棄防止の観点から、「自動車リサイクル法」(使用済み自動車の再資源化等に関する法律)が平成十四年七月に成立、公布され、平成十七年一月施行、二月一日から登録・車検時のリサイクル料金等の預託確認業務が開始されます。

自動車リサイクル法施行まで1年

自動車所有者の負担となります。



この法律は、使用済み自動車に係るシュレッダーダストおよびエアバック類の再資源化を促進し、環境汚染の防止を図ることを目的として制定された法律です。自動車リサイクル法は、自動車所有者がリサイクル料金を預託しなければならぬことになっており、ここで徴収されたリサイクル料金は、資金管理法人(自動車リサイクル促進センター)で管理されます。また、使用済み自動車の処理について、これまで静脈インフラを

山梨県タクシー協会

利用者対象に接遇満足度を調査

山梨県タクシー協会が、よたが七五%と多かったもの、安全で快適なタクシー運行の「言わなかった」が三三%に上がった取り組みを推進するため、八月五日の「タクシーの日」に山梨県観光キャブ協会と連携して、タクシー利用者の満足度調査は次のような結果となりました。

行き先を告げた時、ドライバーから「返事があった」と答えたのは九一%、「無言でうなずいた」五%、「応答なし」二%でした。

また、運転者に対する信頼度は「安心して乗れる」(六一%)、「普通」(三六%)、「不安」(二%)でした。

運転者の服装については「きちんとしていた」(五九%)、「普通」(三九%)、「不愉快」(二%)で調査結果は概ね良好でしたが、利用者にとって快適な乗り心地を提供する

引越のことなら
まずお電話を!

まかせて安心

ISO9002 認証取得
 松本引越センター関東甲信地区事業所
松本引越センター
 山梨営業所
 TEL. 055-222-0222
 0120-22-0222
 中巨摩郡玉穂町西新居330-7